川崎市ホームレス訪問型自立支援住宅事業実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、川崎市ホームレス自立支援事業実施要綱第5条に規定する、「訪問型自立支援住宅」において、ホームレス訪問型自立支援住宅事業（以下、「本事業」という。）を実施するため、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 本事業は、集団生活や福祉制度の活用に対して拒否感が強く行政の支援につながりにくい、長期に路上等で起居するホームレス等に対し、安心して暮らせる住まいの確保を優先し、訪問による重点的な相談支援を行う。これにより、ホームレスが自身の生活について考え、路上生活からの脱却の契機とし、もってホームレスの自立を支援することを目的とする。

(定義)

第3条 この要綱において次の各号に掲げる用語は、当該各号の定めるところによる。

- (1) ホームレス等 都市公園、河川、道路、駅舎その他の施設を故なく起居の場所とし日常生活を営んでいる者又は終夜営業店舗に寝泊りするなど不安定な居住環境にあり、経済的に困窮することにより路上生活に陥るおそれのある者をいう。
- (2) 生活困窮者・ホームレス自立支援センター（以下「自立支援センター」という。） 川崎市ホームレス自立支援事業実施要綱第5条に定めるホームレス自立支援施設をいう。
- (3) 施設長 訪問型自立支援住宅を設置する生活づくり支援ホーム

下野毛及び自立支援センター日進町の施設長をいう。

(4) 巡回相談 巡回相談事業実施要綱第3条に定めるホームレス巡回相談をいう。

(事業の内容)

第4条 第2条の目的を達成するため、次に掲げる支援を行う。

- (1) 住宅及びその設備、寝具、家具及び家電等の貸与
- (2) 日常生活の状況把握及び生活相談の実施
- (3) 食事の提供
- (4) 日用品、消耗品等の提供
- (5) その他ホームレス等の自立を支援するための施策

(実施場所及び定員等)

第5条 前条に規定する事業を実施するため、訪問型自立支援住宅を次のとおり設置する。

名 称	定 員	位 置
生活づくり支援ホーム下野毛 訪問型自立支援住宅	1名	川崎市中原区
川崎市自立支援センター日進町 訪問型自立支援住宅	1名	川崎市川崎区

(入所対象者)

第6条 長期に市内の路上等で起居するホームレス等のうち、基本的日常生活動作(BADL)が自立しており、手段的日常生活動作(IADL)についても特に問題が見られないが、集団生活等に抵抗感が

強く、自立支援センターでの支援にはつながりにくい者。

ただし、次の者は利用できないものとする。

- (1) 18歳未満の者
- (2) 川崎市暴力団排除条例第2条第2号及び第3号に該当する者
- (3) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に定める感染症に罹患している疑いのある者
- (4) 暴力、暴言のある者
- (5) 過去に本事業を利用したことがある場合、訪問型自立支援住宅周辺の地域に対する迷惑行為等があった者
- (6) 過去に本事業を利用し、退所した日から起算し、3月を経過していない者。ただし、福祉事務所長が真に必要と認めた場合を除く。
- (7) その他施設長が明らかに本事業の利用が困難であると判断した者

(入所の決定)

第7条 入所の決定は、第6条の要件を満たす者からの利用申込みに対し、その者が起居している場所を所管する福祉事務所長が行う。

2 入所者は「訪問型自立支援住宅事業利用申込・資産収入申告書兼誓約書」(第1号様式)を福祉事務所へ提出しなければならない。

3 福祉事務所長は、提出された「訪問型自立支援住宅事業利用申込・資産収入申告書兼誓約書」(第1号様式)並びに施設長及び巡回相談員の意見をもとに入所の可否について判断し、「入所決定通知書」(第2号様式)を入所者へ通知しなければならない。

(入所者の費用負担)

第8条 本事業の利用に伴う費用については、原則として入所者から徴収しないものとする。

(入所期間)

第9条 入所期間は、原則として連続して3月を超えないものとする。

ただし、支援調整会議を経て、自立のため延長が必要と認められた者については、入所を承諾した日から起算し、原則として6月まで延長を認める。

(支援調整会議)

第10条 施設長は、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業実施要領の5に規定する支援調整会議を開催する。

2 支援調整会議は、施設長、相談支援員、福祉事務所の担当職員、本人及び生活保護・自立支援室の担当職員で構成する。ただし、施設長の判断により、本人を除いて開催することができる。

(支援プランの作成)

第11条 施設長は、入所者の自立のため、生活困窮者自立支援法施行規則第2条に規定する自立支援計画（以下、「支援プラン」という。）を作成し、支援プランに基づいて入所者の支援を行うものとする。

2 施設長は、新規に入所した者に対する個別面接を実施し、当該入所者のこれまでの生活状況、身体状況及び今後の自立に向けた意向を聴取するものとする。

3 施設長は、前項による個別面接のほか、入所者の状況把握のため、見極め及び自立に向けた指導援助に努めるものとする。

4 施設長は、前2項の入所者に対する面接結果等に基づき、原則として入所後3週間以内に、当該入所者ととともに支援プラン案を作成するものとする。

5 施設長は、支援調整会議の審査の前に支援プラン案を出席者へ報告しなければならない。

(入所者の遵守事項)

第12条 入所者は、本事業の利用にあたり、次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 住宅内の清潔を保つこと
- (2) 近隣住民の迷惑となるような行為を行わないこと
- (3) 施設長に無断での外泊及び住宅へ部外者を立ち入らせないこと
- (4) 住宅内の設備及び備品の持ち出し並びに破損をしないこと
- (5) 住宅内に危険物を持ち込まないこと
- (6) その他、施設長が定めた事項を遵守すること

(退所の決定)

第13条 施設長は、第6条ただし書きの各号に該当することが判明または次の各号のいずれかに該当する事由が生じたとき、速やかに福祉事務所長へ報告し、退所の決定を求めることができる。福祉事務所長は施設長から退所の決定を求められた場合には、その報告内容を確認し、退所の決定について判断し、「退所決定通知書」(第3号様式)により入所者へ通知する。

- (1) 第12条に定める遵守事項に著しく違反したとき
- (2) 入所者が医療機関へ入院又は社会福祉施設等へ入所したとき
- (3) 無断未帰所等により所在不明となったとき
- (4) (1)～(3)に掲げる場合のほか、施設長が退所の決定が必要と認めるとき

(事業の委託)

第15条 市長は、本事業の全部又は一部について、生活困窮者・ホームレス自立支援センター事業の委託先事業者に委託することができるものとする。

2 前項により委託を受けた事業者（以下、「事業者」という。）が本事業を実施するにあたっては、第三者に再委託することはできないものとする。ただし、事前に市長の承諾を得た場合はこの限りではない。

（秘密の保持）

第16条 事業者は、本事業の実施に際して知り得た秘密について、これを第三者に漏らしてはならない。

（記録の整備）

第17条 施設長は、入所者に関する支援内容について記録を作成し、利用申込書等とともに5年間保管するものとする。

（事業実施報告）

第18条 事業者は、事業実績報告を月毎に取りまとめ、翌月10日までに市長に報告するものとする。

（補則）

第19条 この要綱の実施に関して必要な事項は、健康福祉局長が別に定める。

附則

この要綱は、令和3年10月1日から施行する。

附則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

ほうもんがたじりつしえんじゅうたくじぎょう
訪問型自立支援住宅事業
りょうもうしこみ しさんしゅうにゅうしんこくしよけんせいやくしよ
利用申込・資産収入申告書兼誓約書

私は、下記1の目的のため、川崎市ホームレス訪問型自立支援住宅事業（以下、「自立支援住宅事業」という）を利用したく、以下の事項を理解・同意し、下記4の同意・守るべき事項を必ず守ることを約束し、事業の利用を申し込みます。

1 入所目的

自立支援住宅事業の利用をとおして居宅生活を体験し、自立した生活について考え、野宿生活からの脱却を目指すため。

2 施設入所による自立支援（サービスの提供）の主な内容

上記1の目的のため、下記4の同意・守るべき事項を守る場合に限り、無料で、食事及び宿泊場所を提供し、自立のための相談サービスを提供します。

支援プランを作成し、自立に向けた支援を行います。

なお、利用者が、下記4の同意・守るべき事項に違反したと判断するときは、支援は中止となり、退所となります。

3 資産・収入申告

私の収入及び所持金は次のとおりです。

収入金額 (月額)	円
預貯金等を含 めた所持金	円

※ 申込日の属する月の収入が確実に推計できる場合はその額を、月により変動があるときは収入の確定している直近3か月間の平均収入を記載する。失業等給付、児童扶養手当等各種手当も合算する。

4 同意・守るべき事項

- (1) 住宅内では利用のルールを守り、近隣住民の迷惑となるようなことはしません。
* 例えば、騒音、威圧的な言動や暴力行為、金銭の貸借、危険物の持込み等
- (2) 住宅内は清掃を行い、清潔を保ちます。
- (3) 住宅内の備品は大切に扱い、勝手に持ち出すことや破損することはしません。
- (4) 施設長に無断での外泊及び部外者を立ち入らせることはしません。
- (5) 自立活動の支援、施設管理等のため、生活歴、親族関係その他の個人情報
の聴取及び記録の管理・保管並びにこうした記録の施設、市役所担当課
及び本事業の受託先等での共有及び保管に同意します。
- (6) 入所期間中は、自分の荷物は自分の責任で管理します（施設は、預入を
受けた金銭を除き、荷物の盗難等による責任を負うことはできません）。
- (7) 入所期間中に就労収入や年金収入等を得た場合には、その収入額や明細
を施設長へ報告し、自立のために貯蓄します。
- (8) 入所期間が終了したときは、施設長の指示に従い、必ず退所します。
また、退所する際は荷物の全てを持って退去し、退去後に残された荷物は
理由のいかんを問わず処分されても異議の申し立て、補償の請求等は致
しません。
- (9) 資産・収入調査の結果、入所要件に該当しなかった場合、施設長の指示
に従い、退所します。
- (10) 上記の事項又は施設長による指示に従わないため退所となったとして
も、異議は申し立てません。

上記申立事項に相違ありません。また、上記4同意・守るべき事項について説明を受け、同意しました。

年 月 日

(あて先)

川崎・大師・田島・幸・中原・高津・宮前・多摩・麻生 福祉事務所長様
川崎市ホームレス訪問型自立支援住宅（下野毛・日進町） 施設長様

ふりがな	
氏名	
生年月日 (年齢)	年 月 日 (歳)

(第2号様式)

にゅうしょけつていつうちしよ
入 所 決 定 通 知 書

第 号
年 月 日

様

福祉事務所長

川崎市ホームレス訪問型自立支援住宅（下野毛・日進町）への入所を、次のとおり決定するので通知します。

入 所 者	氏 名			
	生 年 月 日	大・昭・平	年 月 日	(歳)
入 所 期 間	年 月 日 () ~ 年 月 日 () 午前10時まで			

なお、入所期間中は、次の事項を守ってください。

- 1 近隣住民の迷惑となるような行為を行わないこと。
(例 騒音、威圧的な言動や暴力行為、金銭の貸借、危険物の持込み等)
- 2 住宅内は清掃を行い、清潔を保つこと。
- 3 施設長に無断での外泊及び部外者を立ち入らせないこと。
- 4 住宅内の設備及び備品の持ち出し並びに破損をしないこと。
- 5 指定された場所以外で火気を使用しないこと。
- 6 入所期間中に就労収入や年金収入等を得た場合には、その収入額や明細等を施設長へ報告し、自立のために貯蓄すること。
- 7 その他、施設長が定めた遵守事項を守ること。

(特記事項)

(第3号様式)

たいしょけっていつうちしょ
退所決定通知書

第 号
年 月 日

様

福祉事務所長

川崎市ホームレス訪問型自立支援住宅（下野毛・日進町）の退所を、次のとおり決定をします
ので通知します。

入 所 者	氏 名	
	生 年 月 日	大・昭・平 年 月 日 (歳)
退 所 日	年 月 日 () 午前10時まで	
理 由	1 住居を確保し、居住を開始した。 2 社会福祉施設等へ入所した。 3 長期間（15日以上）の入院等による治療が必要となった。 4 無断未帰所等により所在が不明となった。 5 入所者が退所を希望した。 6 自立の意思がない。 7 遵守事項に著しく違反した。 8 7 川崎市ホームレス訪問型自立支援住宅事業実施要綱第6条ただし 以下（1）～（7）に該当することが判明した。 9 その他 ()	

なお、退所の際に、次の事項を守ってください。

- 1 退所日には、速やかに退所してください。
- 2 施設内の自分の荷物は、施設を退所するときに全部持って退所してください。
また、退所時に施設に置いていった荷物については処分するので、了知してください。
なお、処分した荷物については、川崎市及び施設は一切責任を持ちません。

(特記事項)